



平成27年度 化学工学会インターンシップ 成果報告

氏名	佐々木 俊貴		
所属	岡山大学 大学院	研究科 専攻 学年	自然科学研究科 応用化学専攻 修士1年
研修先企業	株式会社カネカ	部署	生産技術研究所
研修場所	高砂工業所		
研修テーマ	2次元流動層内の気泡挙動の観察		
研修期間	平成27年8月17日～9月30日 30日間(土日祝を除く)		

応募経緯と目的

応募経緯

実際に企業で働くことでしか得られない経験をしたい

目的

- 「大学」と「企業」の違いを知る
- 化学工学がどのように役立っているか学ぶ
- 自分に不足しているもの・課題を見つける

研究生生活や就職活動に活かす

応募経緯と目的

学会を通じて応募した理由

- 化学工学に特化した研修内容
- 研究室の先輩方の声

研修先を選んだ理由

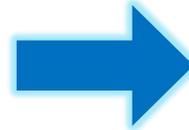
- 多岐にわたる事業展開を支える高い技術力
- 長期間インターンシップに参加可能

研修概要

テーマ

2次元流動層内の気泡挙動の観察 スケールアップにおける問題点の改善

ベンチスケール



パイロットスケール

障害物の挿入により、粒子の混合性が落ちる

流動の様子を壁面から動画撮影



気泡頻度を測定することにより混合性を評価
(気泡頻度の測定方法を開発)



挿入する障害物の最適なレイアウトを考察

研修を通して得たもの①

安全対策の徹底

- 3S(整理 整頓 清掃)
- KY(危険予知)シート
- 工業所内交通ルール
- ヘルメット、保護めがねの着用
- 手すり持ち
- ヒヤリハット報告
- 安全シール

安全対策に関してできることは全てやる
⇒ 『事故を未然に防ぐ』という強い思い

「企業」と「大学」の大きな違い

研修を通して得たもの②

企業での研究

低コストで効率よく、安定生産・安定供給できるように等
企業の利益を考えて、**実際の生産を見据えた研究**

他部署との連携、ディスカッションが活発

限られた時間の中で計画的に行動することが重要

企業の雰囲気

やさしく、人柄のよい社員の方々 ⇒ 働きやすい

インターンシップを終えての感想

自分に必要なものが何かを学ぶいい機会となった

- 整理整頓などの安全に対する意識
- 実用化を見据えた工学的な視点
- 限られた時間での計画的な行動
- 化学工学の基礎知識 + 自分の研究分野の専門知識



これらを養いながら研究 ⇒ 将来の糧に

後輩への紹介

- 「大学」と「企業」の違いを知ることができる
- 化学工学の有用性を学ぶことができる
- 社会人として働くイメージがつかめる
- 自分に不足しているものを知ることができる

他では得ることのできない経験

**意識・価値観などが変わり、自身の成長へと繋げる機会
是非、インターンシップへの参加をお勧めします！**

謝辞

インターンシップという貴重な体験の機会を提供してくださった株式会社カネカの皆様に心より感謝申し上げます。

**また、一ヵ月半もの長期間、貴重な時間を割いて親切に面倒を見てくださった生産技術研究所の方々に深くお礼申し上げます。
本当にありがとうございました。**